

故郷を守り抜き 確かな未来を切り拓く

—山本公一・元環境大臣の業績を継承・発展—

平成から令和へ、新たな時代が幕を開けました。

新しい時代を豊かなものにしていきたく誰もが願うところですが、国内では人口減少の進展、国外では国際情勢の激変など、課題が山積しています。私たちの世代は、こうした内外の課題に立ち向かっていかなければなりません。

私は、「地域のために働く」という原点に立って、総務省や自治体で勤務した経験を活かし、西日本豪雨災害からの一日も早い復旧・復興、農林水産業の振興、防災・減災対策、地方創生などの政策実現に取り組み、人口減少などの課題を乗り越え、活力ある故郷を次の世代に引き継いでまいる決意です。

そのために、まずは私自身が現場にうかがい、地域の皆さまに丁寧な思いや政策をお伝えし、そして、皆さまの声をしっかり受け止め、様々な課題に対し、力をあわせて解決策を見出していき、そういった政治姿勢を貫いてまいります。

山本公一・元環境大臣の築いた業績を受け継ぎ、新たな風を吹きこみながら、故郷・愛媛の発展のため、日本の未来のため、全力を尽くしてまいります。



お田植え祭（農林水産研究センター）



愛南町いやしの郷トライアスロン大会



第53回愛媛マラソン（2時間49分のベストタイム）



家族と（2012年愛媛県在職時）



愛媛県議会答弁

略歴	平成3年	自治省入省
	平成12年	新潟県 総務部 財政課長
	平成19年	総務省 自治財政局 財政課 財政企画官
	平成20年	愛媛県 総務部長【加戸守行知事3期目】
	平成24年	愛媛県 副知事【中村時広知事1期目】
	平成28年	内閣官房 内閣官房副長官補付 内閣参事官
	平成29年	総務省 自治財政局 地方債課長
	平成30年	財務調査課長
		※7月豪雨災害時に政府支援チーム員として宇和島市等へ派遣
	令和元年	総務省 自治行政局 地域政策課長

【プロフィール】

生年月日 昭和43年（1968年）8月5日（51歳）
 学歴 岐阜県加茂郡七宗町立上麻生小学校
 岐阜県加茂郡七宗町立上麻生中学校
 愛知県 東海高等学校
 東京大学（法学部）卒業
 家族 妻、長女（大学1年生）、長男（中学3年生）
 趣味・特技 陸上競技
 （東京大学陸上部在籍 フルマラソン
 2時間49分の記録を持つサブ3ランナー）

自由民主党愛媛県第四選挙区支部
長谷川じゅんじ事務所

宇和島事務所 〒798-0040 宇和島市中央町 2-3-30
 TEL 0895-65-9410 FAX 0895-65-9411

大洲事務所 〒795-0063 大洲市田口甲 418-2

facebook



自由民主党



継承と発展
 故郷を守り抜き
 確かな未来を切り拓く

自由民主党愛媛県第四選挙区支部 支部長

長谷川
 はせがわ
 じゅんじ

後援会討議資料

① 豪雨災害からの迅速な復旧と創造的復興

甚大な被害をもたらした豪雨災害からの復旧・復興は道半ばです。政府の被災者支援チーム総括として復旧業務に従事した経験を活かし、一日も早い復旧と災害時よりも活力あふれる創造的復興に向け、国の支援策を総動員します。



② 農林水産業の振興 (所得の増加、後継者の育成・確保)

柑橘、養殖、畜産、林業など全国トップブランドを目指した産地の取組や、スマート農業の推進を積極的に支援することにより、生産者の所得の増加を実現し、後継者となる若者が夢と希望をもてる力強い農林水産業への転換を全力で後押しします。



政策の 8本柱

継承と発展 故郷を守り抜き 確かな未来を切り拓く

③ 災害に強い国づくり (防災・減災・国土強靱化)

南海トラフ地震を想定した地震・津波対策、近年の大規模な自然災害の教訓を踏まえた、肱川をはじめとする治水対策など、防災・減災対策を強力に進めます。また、防潮堤の整備や、県や市町が管理する身近な河川の掘削・浚渫が進むよう、県や市町への財源も確保します。



④ 地域経済と安全・安心を支える インフラの整備促進

高速道路を愛南町まで延伸して「四国8の字ルート」の早期実現に取り組むとともに、四車線化を推進します。さらに、大洲・八幡浜自動車道や宇和島港・八幡浜港など、地域経済を支え、災害時には緊急避難路や物資集積拠点ともなるインフラの整備を促進します。

⑤ 中小企業の振興、観光・交流人口の拡大

県民の雇用を支える中小企業の生産性向上や経営多角化などの取組を支援するとともに、後継者の育成や事業承継を集中的にサポートします。インバウンド(訪日外国人旅行者)を南予地域に呼び込み、観光・交流人口の拡大によって地域経済を元気にします。

⑥ 子育て支援の拡充と 全世代型社会保障への転換を推進し、 誰もが輝き、活躍できる社会を実現

幼児教育・保育の無償化後も、受け皿の拡充に努め、子育て世帯の負担軽減に取り組みます。人生100年時代を迎える中、高齢者が希望に応じて働けるよう雇用年齢を引き上げるとともに、地域医療を守り、「健康寿命」を延ばします。そして、女性や若者、高齢者、障がいのある人、誰もが輝き、活躍できる社会を創ります。



⑦ 革新的技術を活用して 「条件不利地域」を克服

条件不利地域のハンディを乗り越える鍵は、5GやAIなどの革新的技術の活用にあります。自動運転、ドローンによる輸送、遠隔医療などを地方から積極的に導入するとともに、地方でも格差なく教育を受けられるよう、遠隔授業の展開など教育のデジタル化を進めます。

⑧ 地方創生の推進(地方への人の 流れの創出、地方財源の確保)

東京一極集中を是正し、地方への人の流れを創出するため、地方への移住・就職や企業の地方移転に手厚い支援を行います。大都市部に集中する税収の再配分をし、地方の税財源の充実に取り組みます。過疎地域を守るため、新たな過疎法の制定に取り組みます。



長谷川じゅんじの活動

愛媛県第4選挙区(宇和島市・八幡浜市・大洲市・西予市・伊予市・久万高原町・内子町・伊方町・鬼北町・松野町・愛南町)の皆様と共に歩みます。



中村時広知事も応援



第四選挙区の会で激励を頂く



市・町長より様々なお話を伺う



地域に根差す若者との意見交換会



地元の方々が集まる憩いの場にて談笑

二階俊博幹事長から力強い激励